

タイトル: ITS/自動走行に向けた情報通信技術 Honda の取り組み

講演団体: (株)本田技術研究所

Honda の環境・安全ビジョンは、“自由な移動の喜び”と“豊かで持続可能な社会”の実現です。

安全運転支援システムや、自動運転技術は安全かつ安心で“自由な移動の喜び”を実現するための重要な技術であると考えています。

本講演では、ホンダの ITS および自動運転技術の取り組みをご説明します。

1. ITS および自動運転技術への期待

ドライバーのミスによる交通事故が 90%以上との分析結果が報告されています。事故ゼロに向けた期待や、交通流改善による渋滞解消および移動に必要なエネルギーの削減への期待やつながる車、Big Data 活用について紹介します。

2. 運転支援技術の現状

昨年 Honda が発表した先進安全運転支援システムの総称である Honda Sensing を例に、自律型安全運転支援システムの現状について説明します。又、通信利用型の安全運転支援システムである ITS SPOT および Green Wave の取り組みについても紹介します。

3. 自動運転技術の現状と今後

自動運転システムを実現するためのセンサー類や、自己位置同定、走路環境認識、行動計画、行動計画を実現するための車側のシステムの概要を紹介します。

又、協調領域であるダイナミックマップおよび自動運転時に必要となる ITS 電波の高度活用案

- ①道路からの先読み情報、②合流・車線変更支援、③自動運転車による情報収集・配信、④隊列走行 を紹介します。

昨年の ITS Detroit で実施した Honda 独自ショーケースの中から、Cobo Hall 近傍の高速道路での自動運転デモの内容を動画で紹介します。

4. まとめ

安全運転支援技術および自動運転技術の普及を前提にした将来の交通社会を説明するとともに、その実現の為の、法的/社会的取り組み内容および技術的な取組内容を説明します。

